

書評及新刊紹介

書 評

肺結核治療法の變遷

結核の研究に就ては、岡西の結核か結核の岡西かといふ程誠に世上に知られて居る。其の岡西順二郎博士が本職の東京都港保健所長や東京醫科大學教授として激務の傍ら今度物したのが『肺結核治療法の變遷』といふA六型の極めて蒲洒たる百頁足らずの小冊子であり發行所は吐鳳堂である。

此小冊子を通して述べたいことは、治療の變遷といふよりも、寧ろ肺結核全般に通じてのアウトラインを書いたもので、エヂプト、ギリシア、ローマ時代より今日に及んだ荒筋も敍したのであるが、此古代より今日迄結核に關し進歩したのは茲70—80年來のことであり、特に結核菌の發見虛脫療法X光線による診斷に迄及んで居るが療法に化學療法及びストレプトマシンと雖も何等特異なものでは無い、寧ろ所謂人を見て法説け方針がいゝと述べ、終りにBCG等で其豫防に迄言及して居るが、多岐多端に互る事柄を其要點要點を逸することもなく、之を涉獵して餘す處がない。本書が結核の診療に従事して居る人々にもといふて居るが、一般醫家に對して診療上の好參考書たることを茲に推奨して憚らない。(K. M. 生)

新 刊 紹 介

K. H. 生

性教育(Sex Education)小讀本集(Booklets)

米國醫學協會(A. M. A.)發行

幼小兒時代より青壯年に至る各年齢期の正しい性教育を解説した小冊子集で、日本にもかゝる種類の書籍が欲しい。

以下各冊子を簡単に紹介すると次の如くである。

A) 若い人々の讀物(For young people). Thurman B. Rice 著

1. 性に關する最初の質疑(Those First Sex Question)

幼小兒の兩親へ小兒の間に對する答へ方を書いたもの(40頁, 25仙)

2. 生命の話(The story of Life)

10歳の男女兒に植物は如何に繁殖するや、そして人間は如何? と言う問題を解説したもの(36頁, 25仙)

3. 人世のあゆみ(How Life Goes On)

High Schoolの少女向きとして明日の母としての彼女等の役目を書いたもの